

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : カスカディア・コミュニティ大学

**留学期間** : 平成 27 年 3 月 7 日 ~ 平成 28 年 1 月 16 日

私は去年の三月の初めに約 10ヶ月間のシアトル留学に出発しました。私の学校は毎年シアトルへの留学を行っており、今年も約 30人のクラスメートとともに旅立ちました。幼いころからの夢の一つであった海外留学のスタートは不安よりもどんな経験ができてどう自分が成長できるのかという楽しみでいっぱいでした。留学前に私が決めた三つの目標は、ホストファミリーと本当の家族になる、たくさんの人とコミュニケーションをとる、日本語をできるだけ使わないというシンプルなものでした。アメリカに到着してまず取り組んだことはその環境、ホスト宅での生活になれることでした。私のホストはマザーとファザーの二人で子供がいなかったこともあったためか私のことを本当の娘のように扱ってくれました。初めは緊張感や、どうしても気を遣ってしまいがちでしたが、自分の意思を伝えたり、ただ一緒に会話をしようと努力をしているうちに自然とコミュニケーションをはかれていることに気が付きました。ホストファミリーとは10ヶ月の滞在を経て、トラブルや行き違いはもちろんありましたが、その都度解決して今でもセカンドハウスがシアトルにあるという感覚でよく連絡を取り合っています。これから留学に行くとホストファミリーの家への滞在を考えている方にアドバイスができるとすれば、ぜひ体験することをおすすめします。アメリカの家庭に実際入って、現地の人と生活するという事は、習慣の違いや文化の違いを生で触れ合うということになります。もちろんお互い気に入らないことがあったり、「あたりまえ」が通じなかったり、戸惑ったりすることは百程あります。しかしそこで自分がそれにどう対応し、どう受け入れるかで価値観が変わったりいままで見えていなかった新しいなにかをつかめるはずで

す。勉強面に関して努めたことは、まず日本語をなるべく使わず英語だけの環境を自ら作ることでした。日本の学校からの留学プログラムだったので日本人の友達はもちろんいつも周りにいました。しかし、日本人で固まっていたは本当に勿体ないです。私は日本人グループでの行動をなるべく避ける代わりにクラスで友達を作り、積極的に話しかけました。恥ずかしがったり、「自分の英語は完璧ではないから」…といった話さなかったり消極的になる必要はありません。なぜなら ELP(English Learning Program)のクラスではほかの国の留学生たちは、自分の英語に対して全く恥ずかしがったりせず、むしろ自信をもって自ら発言をしていました。その国その国によって英語のアクセントは様々で、みんなそれを気にしません。ある日アメリカ人の友達が、「人には人それぞれの英語があり、聞こえづらかったり、理解しにくかったとしても、それはその人が持っただのアクセントでありなんの問題もない」と、教えてくれました。私も最初は自分の英語が通じなかったらどうしようと自信がありませんでしたが、周りの留学生から学ぶことがたくさんあり、自分の壁を突き破る「一歩」を振り絞って日々クラスに参加しているうちに自分の意見を言えたり、苦手なプレゼンテーションもこなせるようになりました。この度の留学で、英語を学ぶというだけでなく、自分自身が大きく成長したと一番に感じます。私は留学に行く前、人の目を気にしてしまいがちでした。しかし、アメリカでは人の目を気にしてばかりで、行動、発言が出来なければ、「自分を持っていない人」と思われます。そんな環境の中で10ヶ月生活していれば、嫌でも自

己表現をしていかないといけません。そして何よりも自分自身に自信ができました。

私の学校は旅行業界の専門学校で、ホテルやツアー会社のことについて専門的に学ぶことができます。日本で観光業の需要が毎年増えてきている中、私もその分野で働き、日本国内のみならず海外から来る旅行者に日本を紹介したいと思い、今の日本の学校に入りました。しかし、アメリカに来てみて、変わったことは、ほかの分野にも興味を持つようになったことです。そのうちの一つは宗教の違いです。クラスのなかにはキリスト教徒、カトリック、ムスリム教徒など様々な宗教背景をもつ生徒たちが混ざり合っただけで学んでいました。キリスト教やカトリックは私にとっても身近でしたが、ムスリム教徒の人たちとは交流したことはそれまでなく、どういふものなのかもあまり知りませんでした。最近ではムスリム過激派のテロの多発により、ムスリム教は多くの人たちから危険だと思われてきてしまっています。私もそのうちのひとりだったように思います。しかし、多くのムスリム教徒の生徒との交流から、学んだことは、その宗教を信仰しているからその人は危険だなどと思てはいけな、人はみんな同じ人間だ、というごく当たり前のことでした。その当たり前の事実を、多くの人にはメディアや自分たちの先入観で物事を判断してしまいがちだと感じました。そのほかにも、アメリカと日本の国の違いについてや、世界の話題になっているニュースなどにも目を向けるようになりました。やはりアメリカに長期で滞在していると今まで知らなかった新しい物事に自然と興味を持つようになり自分でも視野が広がったと大いに実感しています。留学中に培った語学力はもちろんの事、異文化理解やコミュニケーション力はこれから、国際化社会のなかで活躍するにあたって私の最大の強みになると思います。そして、この留学で手に入れたものは私の人生の中でも一番の大きく、意味のある経験だったと思います。